



JASDAQ

平成 27 年 4 月 24 日

各 位

会 社 名 ジェイ・エスコムホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 嶺井 武則
(JASDAQ・コード3779)
問合せ先 業務管理統括本部課長
丸山 博之
(電話 03-5114-0761)

業績予想の修正及び営業外損失の発生見込みに関するお知らせ

平成26年10月24日付にて公表いたしました平成27年3月期通期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）の連結業績予想を修正することとなりましたのでお知らせするとともに、当社の持分法適用関連会社である株式会社モール・オブ・ティーヴィーにおいて、収益に減少が生じる予定であり、当該事実により当社において営業外損失を計上する見込みとなりますので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成27年3月期連結業績予想の修正等

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	360	△20	△42	△36	△6.02
今回修正予想 (B)	324	△29	△65	△59	△9.76
増減額 (B-A)	△36	△9	△23	△23	
増減率 (%)	△10.0%	—	—	—	
(ご参考) 平成26年3月期 通期実績	466	8	6	△7	△1.22

2. 修正理由

通期業績予想につきましては、主要事業である理美容事業におきまして消費税増税に伴う駆け込み需要の反動が長引いたこと及び個人顧客向けの通信販売の試験運用が芳しくなかったことが影響しております。また持分法適用会社である株式会社モール・オブ・ティーヴィー（以下「モール・オブ・ティーヴィー」と言います。）の業績は改善してきておりますが、同社において特別損失を計上する予定であることの影響もあり当社で持分法による投資損失が膨らむ予想です。以上の結果、通期業績予想における売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益を修正しております。

3. 営業外損失の発生見込み

モール・オブ・ティーヴィーは、月刊誌等の出版事業とそれに係る広告事業を主として展開しています。当社はモール・オブ・ティーヴィーの株式の22%を保有して持分法適用関連会社としております。

同社において平成27年3月度に特別損失を計上する見込みであり、当社における連結業績への影響について当該特別損失を基に調査しました結果、モール・オブ・ティーヴィーに生ずる当月純損失に持分法による保有株式比率を乗じた6,891千円について、当社の持分法による投資損失として営業外損失が生じる見込みであります。

※ 業績予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以 上